



一般選抜 (A 日程) (B 日程) 要項

一般選抜 (A 日程) (B 日程) では、受験者の得意な科目を活かせる受験方式 (a・b・c・d) を自由に選べるようになって
います (ピアノ演奏家コース・指揮コース除く)。コースによって若干の違いがあるため、コース毎の表を見て選んでく
ださい。

◆出願資格

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者、及び2024年3月卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者、及び2024年3月修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、
及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

◆出願期間・選抜期間・合格発表

| | | | |
|-------------|---------|------------------------|-----------|
| A 日 程 | 出 願 期 間 | 2024年1月5日(金)～1月15日(月) | 郵送のみ・消印有効 |
| | 選 抜 期 間 | 2024年1月30日(火)～2月1日(木) | |
| | 合 格 発 表 | 2024年2月2日(金) | 本人宛発送 |
| B 日 程 | 出 願 期 間 | 2024年1月15日(月)～2月13日(火) | 郵送のみ・消印有効 |
| | 選 抜 期 間 | 2024年2月25日(日) | |
| | 合 格 発 表 | 2024年2月26日(月) | 本人宛発送 |

A 日程、B 日程どちらの日程でも受験できます。

※A 日程を受験する者で併せてB 日程の受験を希望する者は、Web 出願の入力画面において、チェックをいれてください。これによりA 日
程を受験し不合格だった場合に、B 日程の受験資格が与えられます。(なお、A 日程受験者のB 日程選抜検定料は免除します。)

※ピアノ演奏家コースはA 日程のみ。

◆選考方法・判定基準

実技選抜、音楽理論、ソルフェージュ、面接およびアドミッションポリシーが満たされていることにより合否の判定をし
ます。各コースの得点以外に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」
を多面的・総合的に評価するために、調査書を評価の一部として加えます。

| | ソルフェージュ | 音楽理論 |
|--|--|---------------------------|
| ピアノ演奏家コース 指揮コース (プロフェッショナル) | 新曲視唱 聴音書取…四声体、単旋律、二声旋律 (P.54例題参照) | 主として楽典一般 (P.55～58例題参照) |
| ピアノコース 作曲・音楽クリエーションコース (A) 指揮コース (指導者) | 新曲視唱…調性は#、b、2つまで ※唱法は自由。 聴音書取…旋律2題、和声1題 調性は#、b、2つまで (P.59例題参照) | 主として楽典一般 (P.60～61例題参照) |
| 上記以外のコース | 新曲視唱…調性は#、b、2つまで ※唱法は自由。 聴音書取…旋律2題 調性は#、b、2つまで (P.59例題参照) | 主として楽典一般 (P.60～61例題参照) |

【音楽理論とソルフェージュの受験について】

本学音楽講習会で「認定テスト (音楽理論、ソルフェージュ)」を受験し、認定の評価を受けている者は免除を希望するこ
とができます (ピアノ演奏家コース・指揮コースを除く)。一般選抜 (A 日程、B 日程) で音楽理論・ソルフェージュの受験
をしない場合、それぞれの科目について、「認定テスト」の評価 (A・B・C) に応じて、A = 80点、B = 60点、C = 40点が
配点されます。

なお、「認定テスト」の認定をすでに受けており、一般選抜で音楽理論・ソルフェージュの受験を希望する場合は、それぞ
れの科目について、より高い方の得点が配点されます。

ピアノ演奏家コース受験者の方へ

ピアノ演奏家コース不合格の場合は、自動的にピアノコースで合否を判定いたします。

各コース別 一般選抜 (A日程) (B日程) 実技選抜課題

すべての実技選抜において演奏を途中で切る場合があります。

ピアノ演奏家コース (一般選抜(A日程)(二次)のみ実施。他コースのような選抜方式の選択はありません。)

①実技 ※A、B全てを暗譜で演奏のこと。曲順は自由。

- A 古典派のソナタ (複数楽章も可)
 B 自由曲 (古典派以外の作品。複数曲可。ショパンのエチュード1曲以上含むこと)
 ※A、B合わせて18分以上～25分程度であること。

| | |
|----------|---------|
| ①専攻実技 | 340 |
| ②音楽理論 | 80 |
| ③ソルフェージュ | 80 |
| ④面接 | A・B・C評価 |
| 総合点 | 500 |

②音楽理論*

③ソルフェージュ*

※ P.29 選考方法参照

④面接

ピアノコース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・c)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式※1 | |
|----------|--------|---------|
| | a | c |
| ①専攻実技 | 300 | 500 |
| ②音楽理論 | 100 | — |
| ③ソルフェージュ | 100 | — |
| ④面接 | — | A・B・C評価 |
| 総合点 | 500 | 500 |

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
 選抜方式によって、①～④のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

※すべて暗譜で演奏のこと。繰り返しはしない。

【課題曲Ⅰ】 下記の曲 (1) ～ (8) より任意の1曲を各自が選択し、演奏する。

| 番号 | 曲 目 | 作 曲 者 |
|-----|--------------------------------|--------------|
| (1) | 50番練習曲 Op.740 | Czerny |
| (2) | 60番練習曲 Op.365 | Czerny |
| (3) | 60 Etudes | Cramer-Bülow |
| (4) | Gradus ad Parnassum (Tausig 編) | Clementi |
| (5) | 24 Studies for the piano Op.70 | Moscheles |
| (6) | 15 Etudes Op.72 | Moszkowski |
| (7) | 12 Etudes Op.10 | Chopin |
| (8) | 12 Etudes Op.25 | Chopin |

※(7) Op.10 No.6 (8) Op.25 No.7を除く。

【課題曲Ⅱ】 任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※上記課題曲Ⅰの(1)～(8)は除く。自作曲は除く。

指揮コース（一般選抜(A日程)のみ実施。他コースのような選抜方式の選択はありません。)

指揮コース（プロフェッショナル）

①指揮実技

課題曲

A ウェーバー：魔弾の射手「序曲」

B グリーグ：ペール・ギュント第一組曲より第二曲「オーゼの死」

以上の2曲をピアノ2台4手を指揮する。

初見実技

3分間の読譜の後、ピアノ2台4手を指揮する。

| | |
|------------|---------|
| ①指揮実技 | 250 |
| ②ピアノ実技 | 45 |
| ③器楽または声楽実技 | 45 |
| ④音楽理論 | 80 |
| ⑤ソルフェージュ | 80 |
| ⑥面接 | A・B・C評価 |
| 総合点 | 500 |

②ピアノ実技

ベートーヴェンのピアノソナタより第1楽章または終楽章を選択すること。

※暗譜で演奏すること。

③器楽または声楽実技

自由曲（ピアノ、管弦打楽器、声楽より1つを選択）

※楽譜は見てもよい。（ただし、声楽のみ暗譜で歌うこと。）

- ・ピアノで受験する場合、②とは別の曲で受験すること。
- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜（P.9の⑤参照）を願書に添えて受験すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打楽器で受験する場合、伴奏はなし。

④音楽理論*

⑤ソルフェージュ*

※ P.29 選考方法参照

⑥面接

指揮コース（指導者）

①指揮実技

課題曲

下記（1）～（3）より1つを選択し、ピアノ2台4手を指揮する。

（1）モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジーク第1楽章

（2）ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より第1楽章

（3）リード：アルメリアンダンス パート1（Sam Fox版）から連続する2曲を自由選択する。

1. Tzirani Tzar 「杏の木」
2. Gakavi Yerk 「ヤマウズラの歌」
3. Hoy, Nazan Eem 「おーい、僕のナザン」
4. Alagyaz 「アラギャズ山」
5. Gna, Gna 「行け、行け」

例) 2と3、4と5など。

| | |
|------------|---------|
| ①指揮実技 | 250 |
| ②器楽または声楽実技 | 100 |
| ③音楽理論 | 80 |
| ④聴音書取 | 70 |
| ⑤面接 | A・B・C評価 |
| 総合点 | 500 |

②器楽または声楽実技

自由曲（ピアノ、声楽、管弦打楽器より1つを選択）および初見課題

※楽譜は見てもよい。（ただし、声楽のみ暗譜で歌うこと。）

- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜（P.9の⑤参照）を願書に添えて受験すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打楽器で受験する場合、伴奏はなし。

③音楽理論*

④聴音書取*

※ P.29 選考方法参照

⑤面接

管楽コース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式※1 | | | |
|----------|--------|-----|---------|---------|
| | a | b | c | d |
| ①専攻実技 | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科ピアノ | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | 500 | 500 | 500 | 500 |

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

- フルート ■オーボエ ■クラリネット ■バス・クラリネット ■ファゴット
- サクソフォーン (ソプラノ、アルト、テナー、バリトン)

任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。 ※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

- ホルン ■トランペット ■トロンボーン ■バス・トロンボーン ■ユーフォニアム ■チューバ

- (1) 2オクターブの音階：任意の長音階とアルペジオを1つ演奏する。(譜例P.52参照)
- (2) 任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。 ※伴奏はなし。楽譜は見てもよい。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

弦楽コース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式※1 | | | |
|----------|--------|-----|---------|---------|
| | a | b | c | d |
| ①専攻実技 | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科ピアノ | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | 500 | 500 | 500 | 500 |

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

※伴奏はなし。

- ヴァイオリン ※いずれも暗譜で演奏のこと。

- (1) C. Flesh : Scale System より C dur No.5を冒頭から9小節まで演奏する。
 - ・テンポ♩=69前後で演奏すること。
 - ・ボウイングとフィンガリングは譜面どおり。
 - ・Carl Fischer 版もしくは Ries & Erler / Berlin 版を使用すること。

- (2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。
 - ・エチュード、自作曲は除く。

- ヴィオラ ※楽譜は見てもよい。

- (1) 音階：譜例 (P.53) のとおり音階を演奏する。
 - ・任意の速度で演奏すること。
- (2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

- チェロ ※楽譜は見てもよい。

- (1) 音階：譜例 (P.53) のとおり音階を演奏する。
 - ・任意の速度で演奏すること。
- (2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

- コントラバス ※楽譜は見てもよい。

- (1) 音階：譜例 (P.53) に従い、ホ長調、ヘ長調、ト長調より当日、本学が指定する音階を1つ演奏する。
 - ・譜例のリズム型で演奏し、2オクターブ演奏すること。任意の速度で演奏すること。
- (2) 任意の独奏曲、または練習曲1曲を演奏する。

一般(A・B)

- ハーブ ※いずれも暗譜で演奏のこと。繰り返しはしないこと。
- (1) N. Ch. Bochsa の練習曲より任意の1曲を演奏する。
・版の指定は無し。
 - (2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

打楽コース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式※1 | a | b | c | d |
|----------|--------|-----|-----|---------|---------|
| ①専攻実技 | | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科ピアノ | | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

※伴奏はなし。

- マリンバ ※いずれも暗譜で演奏のこと。
- (1) Morris Goldenberg : Modern School for Xylophone. Marimba. Vibraphone (チャペル版) I、XII、XIII、XVI、XXIより任意の1曲を選択し、演奏する。
 - (2) 任意の独奏曲1曲を演奏する。
- 小太鼓 ※楽譜は見てもよい。
- (1) 1つ打ち、2つ打ち、5つ打ち、7つ打ち、9つ打ちより、当日、本学が指定する。
 - (2) 任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。
※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

邦楽コース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式※1 | a | b | c | d |
|----------|--------|-----|-----|---------|---------|
| ①専攻実技 | | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科実技※2 | | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

※2 副科実技は専攻実技以外の任意楽器演奏とする。

①実技

- 箏 唄を伴う任意の1曲を暗譜で演奏する。
- 三味線 (長唄三味線)
- (1) 三代目 杵屋正治郎作曲「娘道成寺」(新合方)を暗譜で演奏する。

(2) 任意の1曲を演奏する。※楽譜は見てもよい。

■尺八 一尺八寸管（D管）を使用のこと。流派は問わない。※楽譜は見てもよい。

(1) 諸井誠「竹籟五章」より第一章（芬陀）を演奏する。

(2) 任意の独奏曲を2分程度演奏する。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てもよい。

声楽コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式（a・b・c・d）を自由に選べるようになっています。）

| 選抜科目 | 選抜方式 ^{※1} | a | b | c | d |
|----------|--------------------|-----|-----|---------|---------|
| ①専攻実技 | | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科ピアノ | | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

任意の声楽曲2曲を演奏する。

※暗譜で歌うこと。

- ・原語で歌うことが原則であるが、慣習的に認められている訳語は可。（例：歌劇「連隊の娘」をイタリア語で歌うなど）
- ・アリアは原調によるものとするが、慣習的に認められている移調は可。（例：歌劇「セヴィリアの理髪師」から「今の歌声は」をへ長調で歌うなど）

（注）ピアノ伴奏譜（P.9の⑤参照）を願書に添えて提出すること。伴奏者同伴の必要はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

ミュージカルコース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式 ^{※1} | a | b | c | d |
|---------------------|--------------------|-----|-----|---------|---------|
| ①専攻実技 | | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科実技 ^{※2} | | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。
選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 副科実技は任意楽器演奏とする。

①実技

AとBの両方を受験すること。

A) ヴォーカル 3分程度の曲を1曲演奏する。(ミュージカルの曲を選曲し、原語または日本語で歌う)

(注)・ピアノ伴奏譜(P.9の⑤参照)を願書に添えて提出すること。

- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・暗譜で歌うこと。
- ・B) ヴォーカルを選択する場合は、A) ヴォーカルの選曲と重複しないこと。

B) ヴォーカルまたはダンスのどちらかを選択する。

■ヴォーカル 下記の課題曲より1曲を選択し、演奏する。

| | 番号 | 曲目 | 調性 | 作曲者 | 楽譜 | 出版社 |
|-------------|----|---|----------------------|----------------------------|------------------------|-------------------|
| 課題曲 [女性] | 1 | 《THE SOUND OF MUSIC》より My Favorite Things | E minor | RICHARD RODGERS | ヴォーカル セレクション | ヤマハミュージック メディア |
| | 2 | 《MY FAIR LADY》より I Could Have Danced All Night | C major | FREDERICK LOEWE | ミュージカル・ベスト・コレクション(改訂版) | シンコーミュージック |
| | 3 | 《CATS》より Memory (日本語訳詞) | B ^b major | A.L. WEBBER | | シンコーミュージック |
| | 4 | 《Les Misérables》より On My Own | D major | CLAUDE-MICHEL SCHÖNBERG | ミュージカル サウンドシリーズ | ドレミ楽譜出版社 |

| | 番号 | 曲目 | 調性 | 作曲者 | 楽譜 | 出版社 |
|-------------|----|--|----------------------|----------------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 課題曲 [男性] | 5 | 《MY FAIR LADY》より On The Street Where You Live | B ^b major | FREDERICK LOEWE | ミュージカル・ベスト・コレクション(改訂版) | シンコーミュージック |
| | 6 | 《Les Misérables》より Empty Chairs at Empty Tables | A minor | CLAUDE-MICHEL SCHÖNBERG | ミュージカル サウンドシリーズ | ドレミ楽譜出版社 |
| | 7 | 《BEAUTY AND THE BEAST》より If I Can't Love Her | C major | ALAN MENKEN | ブロードウェイ・ミュージカル版 | Hal Leonard |
| | 8 | 《Aladdin》より Proud of Your Boy | D major | ALAN MENKEN | ブロードウェイ・ミュージカル版 ピアノ・ヴォーカル セレクション | ヤマハミュージック メディア |

- (注)・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・暗譜で歌うこと。
 - ・課題曲の調は表記された調のみとする。
 - ・課題曲は全て原語で歌うこと。(3番を除く)
 - ・ピアノ伴奏譜(P.9の⑤参照)を願書に添えて提出。
 - ・課題曲の楽譜については本大学にお問い合わせください。

■ダンス バレエまたはジャズダンスのどちらかを踊る。

(1) バレエはクラシックバレエからヴァリエーション(3分程度)を踊る。

(2) ジャズダンスは自由曲(3分程度)を踊る。

(注)・いずれも音源(CD)は各自で用意し願書に添えて提出すること。

- ・動きやすい服装と靴を着用すること。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏すること。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。(本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。)

※楽譜は見てもよい。

作曲・音楽クリエイションコース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式※1 | a | b | c | d |
|----------|--------|-----|-----|---------|---------|
| ①専攻実技 | | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科実技※2 | | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 副科実技は「A:副科ピアノ、B:任意楽器演奏」とする。

下記のAまたはBより選択して受験する。

A

①実技

- (1) 編成の違う自作品の楽譜（コピー可）を2曲提出する。
- ・出願書類に同封のこと。
 - ・提出された楽譜は返却しない。

- (2) 口頭試問

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

B

①実技

- (1) 出願時にコンピュータまたはシンセサイザー等により本人が制作した楽曲を YouTube 限定公開にアップし、そのURLをメールで送ること。
- ・メール先：kouho_on@meion.ac.jp
 - ・曲はオリジナル、編曲いずれでもよい。
 - ・曲の長さは7分以内とする。
 - ・受験科目記入票に曲名を、編曲の場合は原曲の曲名、作曲者名も明記すること。

- (2) 口頭試問

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。(本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。)

※楽譜は見てもよい。

電子オルガンコース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式※1 | a | b | c | d |
|----------|--------|-----|-----|---------|---------|
| ①専攻実技 | | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科ピアノ | | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。

①実技

ヤマハエレクトーン演奏グレード5級以上の楽曲、または、自作・自編の楽曲を1曲演奏する。

※暗譜で演奏すること。

- ・試験場での使用機種は、YAMAHA ELS-02C, ELS-02X (バイタライズ)。
- ・レジストレーションは自由。ただし、試験場内での設定はできないので、あらかじめUSBフラッシュメモリーで用意すること。
- ・MDRの使用範囲は、演奏データを含まないものとする。

ヤマハ音楽能力検定制度 エレクトーン演奏グレード5級取得者は実技選抜が免除されます。

※上記のグレード5級取得者は、出願時に合格証書のコピー (P.9の⑦参照) を同封してください。(実技選抜の免除を希望する場合のみ)

※実技選抜が免除された者は、特待生試験の受験対象外となります。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

- ・クラシックに限る。出版されている曲のみ。

ジャズ・ポピュラーコース (受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式 ^{※1} | a | b | c | d |
|---------------------|--------------------|-----|-----|---------|---------|
| ①専攻実技 | | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科実技 ^{※2} | | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 副科実技は専攻実技以外の任意楽器演奏とする。

①実技

- ピアノ
- ドラム
- ベース (アコースティック・エレクトリックを問わない)
- ギター (アコースティック・エレクトリックを問わない)
- サクソフォーン (ソプラノ・アルト・テナー・バリトンを問わない)
- トランペット
- トロンボーン

下記の(1)または(2)を選択し、演奏する。

- (1) 任意の1曲をマイナスイン音源を使用し演奏する。

※マイナスイン音源 (CD) は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

- (2) Moritat (Bertolt Brecht / Kurt Weill) を演奏する。

※楽譜および音源は、本学に請求してください。

請求先：名古屋音楽大学 入試・広報センター (フリーダイヤル0120-115-796)

■ヴォーカル

任意の1曲を演奏する。

- (1) 演奏形態は次から選び、曲目記入欄に記すこと。【マイナスイン音源 (CD)、アカペラ、弾き歌い】

(2) マイナスイン音源 (CD) は各自で用意し、願書に添えて提出すること。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。(本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。) 楽譜は見てもよい。

音楽教育コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式 ^{※1} | a | b | c | d |
|----------|--------------------|-----|-----|---------|---------|
| ①実技 | 技 ^{※2} | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科ピアノ | | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 実技は任意楽器演奏(声楽含む)とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏(唱)曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜(P.9の⑤参照)を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽療法コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式 ^{※1} | a | b | c | d |
|----------|--------------------|-----|-----|---------|---------|
| ①実技 | 技 ^{※2} | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科ピアノ | | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 実技は任意楽器演奏(声楽含む)とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏(唱)曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜(P.9の⑤参照)を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽総合コース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式※1 | a | b | c | d |
|----------|--------|-----|-----|---------|---------|
| ①実技 | 技※2 | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科 | ピアノ | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 実技は任意楽器演奏(声楽含む)とする。ただしb、dの実技はピアノ以外とする。

①実技

器楽または声楽のための任意の独奏（唱）曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。

- ・声楽で受験する場合、ピアノ伴奏譜（P.9の⑤参照）を願書に添えて提出すること。
- ・伴奏者同伴の必要はなし。
- ・管・弦・打・邦楽器で受験する場合、伴奏はなし。

②副科ピアノ実技

任意のピアノ独奏曲1曲を演奏する。

※楽譜は見てもよい。繰り返しはしないこと。

音楽ビジネスコース（受験者の得意な科目を活かせる受験方式(a・b・c・d)を自由に選べるようになっています。)

| 選抜科目 | 選抜方式※1 | a | b | c | d |
|----------|--------|-----|-----|---------|---------|
| ①作文 | | 300 | 200 | 500 | 300 |
| ②副科実技 | 技※2 | — | 100 | — | 200 |
| ③音楽理論 | | 100 | 100 | — | — |
| ④ソルフェージュ | | 100 | 100 | — | — |
| ⑤面接 | | — | — | A・B・C評価 | A・B・C評価 |
| 総合点 | | 500 | 500 | 500 | 500 |

- ※1 選抜方式を受験者が選択し、出願してください。選抜方式によって、①～⑤のうち受験する科目・配点は異なる。
- ※2 副科実技は任意楽器演奏とする。

①作文

800字程度（P.62例題参照）。

選抜時間は90分。

②任意楽器演奏

任意の独奏曲1曲を演奏する。

※あらかじめ楽器名と曲目を提出すること。（本学にない楽器の場合は、受験者が持ち込むことになります。）

※楽譜は見てもよい。